

参考 第二時の学習【2/8時間】

- (1) 目標  
『速い』とはどういうことかを考える。
- (2) 本時の授業の工夫  
・速さを比べる場面において、チョロQを使い児童の関心を高める。
- (3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価項目(方法)
導入 (25分)	1 問題把握 ①問題提示 グループで一番速いチョロQを決めよう。 レール説明が5~6分 20分 5分 2分	・事前に自分の使うチョロQを選ばせておく。 ・時間をそろえるグループと道のりをそろえるグループを作る。 時間を揃える: 4秒でどれだけ道のりを進むかを、糸をつけて調べる 道のりを揃える: 9.16メートルをどれだけ時間で進むかを調べる。 一位の人の名前を発表する。	進んだら比べよう? さし、道のり 時間
展開 (15分)	②課題の焦点化 『速い』とはどういうことでしょうか? 2 自力解決 『速い』とはどういうことか、自分の考えを書く。 3 比較・検討 ○『速い』とはどういうことかを話し合う。 ・話し合い活動。	めあて: 『速い』とはどういうことかを考えよう ① 1人1つチョロQをそろえる ② 1コースはグループ別に決める ③ 交替で2回ずつ記録する。{時間 4秒 道のり 1.8m ④ 平均を出して1位を報告。 ・グループで話し合ってから、全体で話し合わせる。 ・共通点を見つけさせて、まとめにつなげる。	【関・意・態】 〈おおむね満足〉 『速い』ということについて、自分の考えを書いている。 〈十分満足〉 道のりや時間に着目して『速い』ということについて、自分の考えを書いている。 (ノート・発表)
まとめ (5分)	4 まとめ ○学習を振り返り、まとめる。 ・『速い』とはどういうことでしょうか。	・同じ道のりを短い時間で行くのが速い ・同じ時間で長い道のりを進むほうが速い	

準備: ストップウォッチ4つ 巻き尺2本 ガイドレール(1.8m×16本) ミシン糸4つ  
タイマー チョロQ36個

★ 1人1回ずつ2回ずつ (2回ずつ)

ワークシート★

4m競争	1.8m競争
------	--------

記録は小数でかく

X	0	0	0
0	0	0	0

平均をとって1位を発表。  
記録を出して発表。

★ タイマー (2つ) 巻き尺 2本

4m競争	1.8m競争
A 4.75m	D 1.448
B 4.40m	E 1.32
C 5.65m	F 1.335

6-1のチョロQ大会を見ての反省

★ 時間配分

ルール説明までの時間(準備)

記録の仕方にとまどっていた ← 事前指導が良かったのか...

比べ方を話し合うので  
やっぱり導入で記録の仕方を説明

→ 画用紙に書いて板書時間を短縮

★ よみあげて確認

★ チョロQ がうまく進まなかったり、レールのサイドにぶつかったりする

1.8mは長いので短くしてはどうか! → 時間が短すぎるか?

(4秒) → 糸をつなぐために手前がかわっていた。  
各グループ糸を2つ準備して交互に。

(平均) → 電卓使用 (2回記録とるのに時間がかかるグループが多い)

★ 比較検討

4m競争	1.8m競争

表が必要

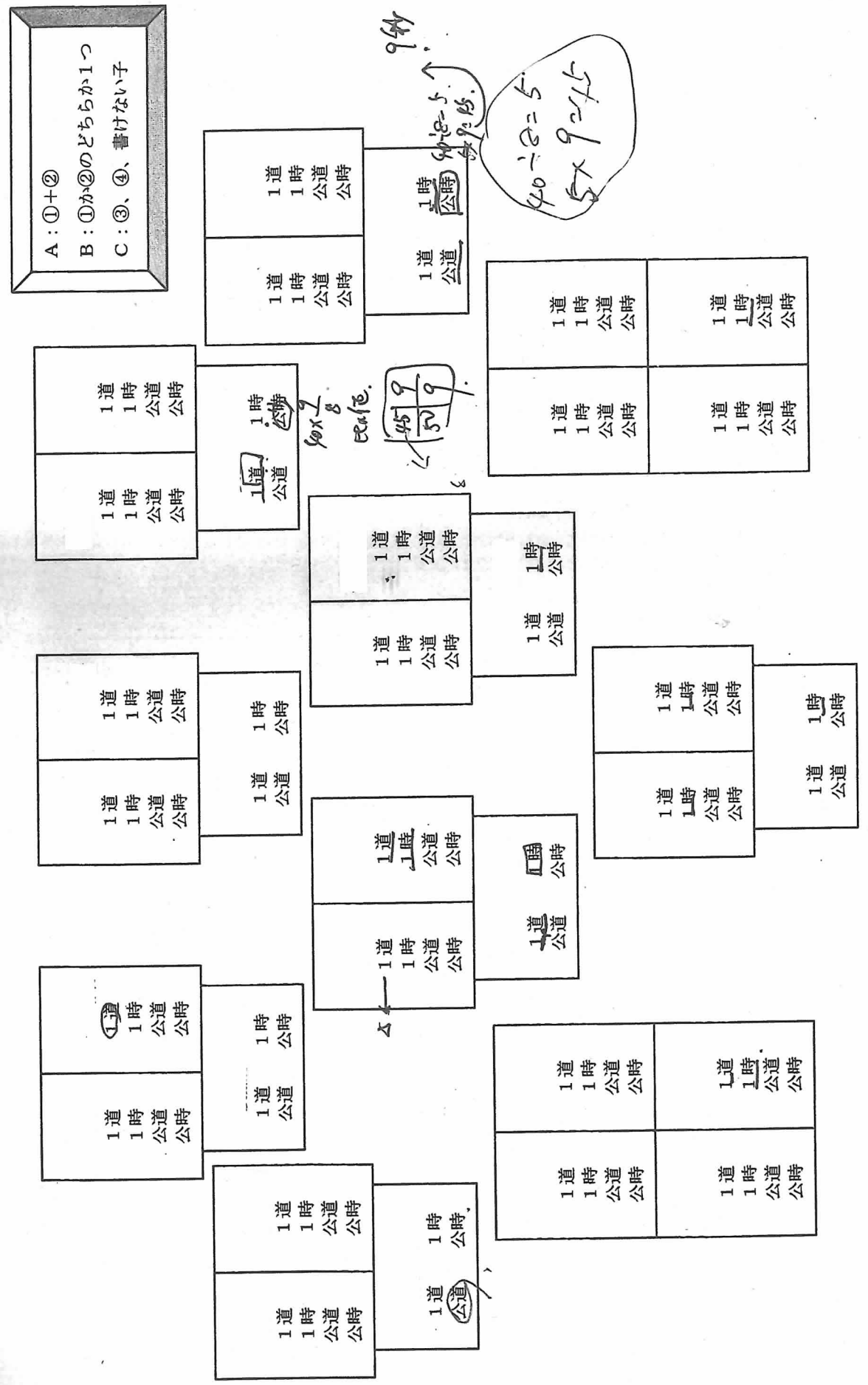
速いとはどういうこと? (しっかり言葉でまとめておく)

	m	秒
A	20	10
B	50	9

表から読み取る練習も必要

どちらが速いか理由をいえるようにする

	m	秒
C	10	2
D	15	3



反省  
問題演習が行えてよかった。

2つの量の関係性

時間、長さ 塔争は部分

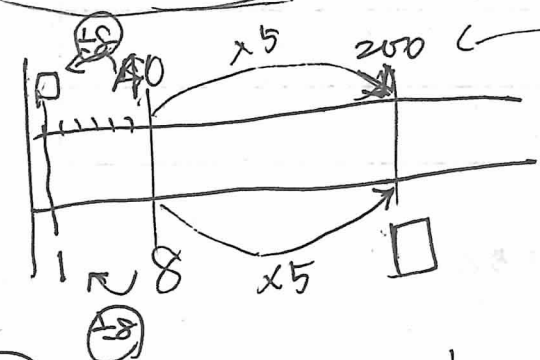
(あて)量のおさえ

10倍数が楽 ← 47年

もう一度... 2015年

どうやってたらしめるん(2015)?

似た方法. 子どもの声を全体でいかに  
先に10倍数を紹介してよかった?!



他の方法がある?  
単位数

補完方向 → 焦点化する

図を使って説明

演習 → これをやって単位数のたし算のわが子

話し合い活動

自分の説明に足りないところはグループで補う(キーワードは?)

学力向上... 問題があがればAがわかる (清水ひろゆき先生)

記述式だけではなく 思考のげんごをつか

知識技をためていく

11/11

かんさつ  
作業

他人と協同学習を高めよう

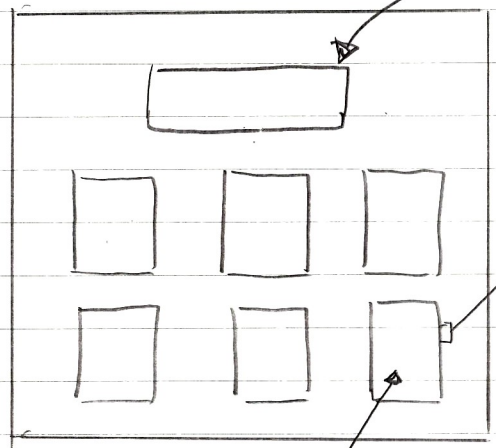
算外の思考をいかにかんさつ → 図. ことば, 数式

$$3 \frac{11000}{30000} \approx \frac{11000}{10000} \approx 1.1$$

推進 全体会

★ 研究計画のたし

2009.6.8  
 <4校時 体育>  
 マット運動 (前転・後転)



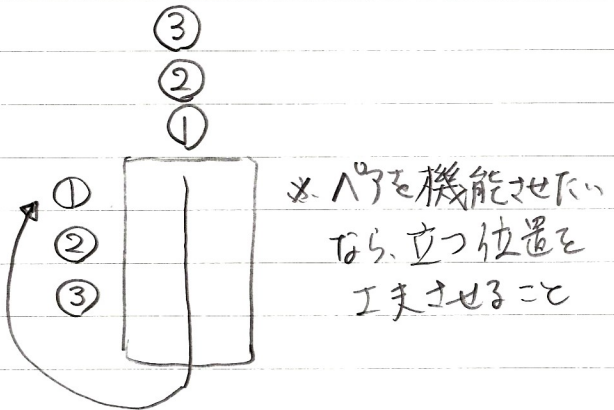
補助板で  
 傾斜をあげる

きれいな前転

なぜ"きれいな前転"は  
 ならない?  
 { 安全  
 スムーズな動き

※ マットのまわりでの  
 座る、聞く姿勢づくり

はじめに ペアでアドバイス  
 し合っ練習  
 ↓  
 次に 全体で確認  
 ◎ どこがポイントか  
 (きれいな前転)  
 おしり → 手 →  
 頭 → 足の順  
 ↓  
 さらに ペアにもとって練習



※ パアを機能させた  
 なら、立つ位置を  
 工夫させること

▲ パアがうまく機能して  
 いない。あるいは 前転の  
 始められたいところへの  
 指示が必要  
 ▲ 左右の腕に均等な  
 力をかけられていないので  
 しゃんてしまう。

<ゆりたろうくんの見本>  
 ・前にゆりたから ・手を耳の横に ・首を曲げる

伸びの後転への前段階 → まだ荒い  
 (わりん → りんこ) おしりをマットにつけておいて 浮かせて  
 体をこらゆるゆりにゆらして

2011.5.9 <3校時 5の2>  
 ◎ メダカはどのように生きていけるのか?

野生のメダカ?  
 ・とも食い } 何を? ⇒ 何を? (水ぎりのメダカ → イサ)  
 ・コケを食っている } 食べる 水を飲んでる  
 ・小さな虫 } 食べる メダカ  
 (水ぎりのメダカ → イサ)  
 水を飲んでる  
 メダカ  
 コケ  
 小さな虫  
 メダカよりも小さいもの  
 水の中にある小さな何か

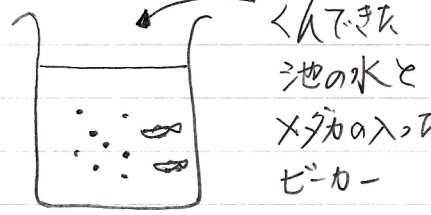
小さい何か  
 水ごと食べる

<本時の問い>  
 ◎ 川や池にはメダカの食べ物になる 小さな何かか  
 いるのではないのか

観察の手順 肉眼  
 ↓  
 虫メガネ  
 ↓  
 解剖けんび鏡  
 ↓  
 光学けんび鏡

倍率の表示

観察や実験方法について  
 考えさせる工夫



くんで来た  
 池の水と  
 メダカの入った  
 ビーカー

※ 5の1では、先週 多くの  
 産卵がみられた (教室の  
 水ぎり)  
 → 生まれた日ごとに  
 ビーカー (200ml) に  
 入れてラベルをつける。  
 ※ 水カビ防止のために  
 メチレンブルーを | 滴 滴下

何が動いている!  
 ↓  
 先生、ルーペがいて。  
 ↓  
 もっとよく見たいという  
 意欲の喚起

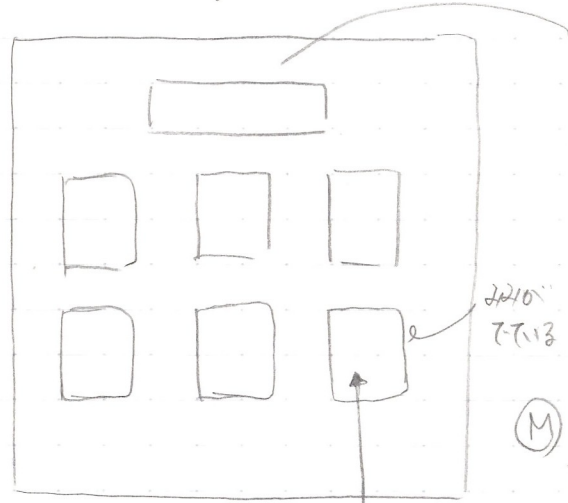
- ① ひとりで一人分は1:1になりた。さしにあめは何:ある:か
- ② あめは全部で18:あり。一人分何:1:なる:か
- ③ あめは全部で20:あり。たけしはみんなの2倍もら。これ: (あり) どれどれ何:する:分けられ:か

茶会 — 個人考える — 相互交流、対話 — 全体討議

5 + 5 + 5 = 150 (m) 15 = 3

人間として生きぬく力  
 ねばり強く問い続け よりよ. ものを創り出す子  
 助けられ支え合い、共に伸びる子  
 強い心と たくましい体を持つ子

4校時 体育



なぜきれいでなければ  
 ならない? <安全  
 スムーズな動き  
 きれいな前転

マットのまわりからは指示  
する、聞く(せいづくり)

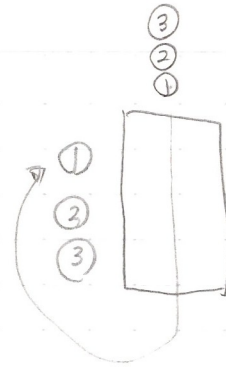
④ P.A.で、アハイスして  
練習

⑤ P.A.より早く機能している、あるいは  
なかなか始められないとへの指示

きれいな前転

補助板で傾斜をつける  
 左右の腕に均等な力をかけられ  
 ないのでゆびがしまり。

おい  
手  
あたま  
足



P.A.を機能させたいなら  
立つ位置工夫して

- 6/9 (水) 明日の予定
1. 社会
  2. 算数
  3. 国語
  4. 漢字(自習)
  5. うれしのミュージカル
  6. 体育(水泳)

5校時 理科

ツマクロヒョウモン 食跡

サナギの色の变化 (場所によって違う)  
 分布が北上してきている  
 ↳ 温暖化  
 ・授業中は見ない、弱くする (約束)

6校時 音楽

- ・「貨物列車 シュンシュン」のビート伴奏に合わせて  
じゃんけん、リラック
- ・ツマクロヒョウモンの幼虫を 持ってきている子たちへの指示

きょりゅうと チャチャ チャチャ



演習・協議 (13:30~14:00)

・指導案の提出

・模擬授業

予想や仮説の立てせ方の工夫  
観察・実験方法の提示の仕方の工夫  
結果に対する整理や考察のせ方の工夫

8/6 ヌタカはどこで生きているのか (1班の模擬授業から)

野外のヌタカ?

- ・とも食い
  - ・コケを食べている
  - ・小さな虫
- 何かを食す

何? (水の中のヌタカ → エサ)

- 水を飲んでいる
  - ヌタカ
  - コケ
  - 小さな虫
  - ヌタカよりも小さいもの
  - 水の中にある小さい何か
- 小さい何か  
何か  
水ごと食す

川や池には、ヌタカの食べ物となる  
小さな何かがあるのではないかな?

◎ 協議の場での進行

8/6 ヌタカの一生 (2班の模擬授業から)

水の中のヌタカ

- ・直射日光
- ・水草
- ・エサ

池の中にあるヌタカは  
何を食べているのだろう

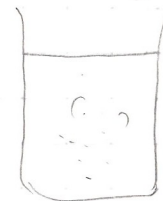
- 水中
- ・卵・赤ちゃんを食している
  - ・水草
  - ・小さな虫
  - ・落葉
  - ・(りくと小さいミミズ)

先生も否定するまでには  
30分の意見を出さないと

観察や実験方法(1)の考察方法

方法

肉眼  
↓  
虫メガネ  
↓  
解剖けいひ鏡  
↓ (10, 20倍)  
光学けいひ鏡



← 川や池の水と  
ヌタカの入ったビーカー

何のり?!

先生ルーペをい!

↓  
むとよ見たという  
意欲を喚起

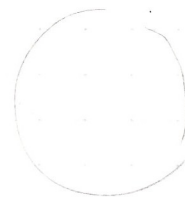
倍率の表示

8/6 生物と養分  
課題 [植物は葉に日光が当たると自分ででんぷんをつくるの  
(にうかう)]

とけり

実験方法

結果



		ヨウ素液(ヨウ素と ヨウ素化カリウム)	でんぷん (ヨウ素とヨウ素化カリウム)
アヒメ	1班	かわらばら	X
	2班	かわらばら	X
アヒメ → 葉	1班	かわらばら	O
	2班	かわらばら	O

日光が当たっている

5年生で条件を制御して比較実験し、検討する

変える条件は1つのみ  
あとの条件は変えない

個々の記録シート

でんぷんをつくるのは植物のみ

共有体験と  
個別体験  
(同一)